

【知事の県内視察】

地域で頑張る皆さんの声を県政へ



子育て支援団体との意見交換（雲仙市）

5月11日から19日にかけて、金子知事が、地域で活躍している皆さんの声を直接お聞きして、これからの県政にいかすために、雲仙市、南島原市、大村市、島原市を訪れました。

現在、経済・雇用情勢が厳しい状況にありますが、どの地域でも、ボランティア、観光、まちづくり、農業、漁業など、いろんな分野でそれぞれ創意工夫しながら頑張っている皆さんの姿がありました。

知事は、6月以降も各地を訪問する予定です。



メロン生産農家（南島原市）



協定書を交わした金子知事（前列左）と安西慶應義塾長（前列右）

【県と慶應義塾が連携協力協定を締結】

大学のノウハウを地域振興に活用

4月10日、県と学校法人慶應義塾との地域振興に関する連携協力協定書調印式が、慶應義塾大学三田キャンパスで行われました。

本県には、歴史や文化、豊かな自然や食、特産品など他にはない魅力的な地域資源が数多くあります。これらを地域活性化につなげるため、県外からの視点や大学が持つ知識、経験、ネットワークを活用しようとするものです。

今後、この協定に基づき、物産や観光、産業振興など幅広い分野で、慶應義塾の研究者や学生、地元と一緒に地域振興に取り組むとともに、市町の職員を大学に派遣するなど、地域づくり活動の活性化と人材の育成を目指します。



【大河ドラマ「龍馬伝」県推進協議会のロゴとキャラクター決定】

本県の魅力を全国へ発信

4月6日、大河ドラマ「龍馬伝」県推進協議会は、長崎市内で第3回総会を開き、同協議会のロゴとキャラクターを発表しました。

それぞれ200点を超える応募作品の中から、ともに「疾風感」をイメージしたものが選ばれました。現在、協議会では、ロゴ及びキャラクターの使用許可の申請を受け付けています。

本年度後半には、政令指定都市を中心に全国13箇所で、「龍馬伝」や本県の特色ある観光、物産、文化をPRする観光物産展と旅する長崎学講座を開催します。また、8月10日から23日にかけて、幕末の帆船「観光丸」（ハウステンボス所有の復元船）が、坂本龍馬ゆかりの地である神戸、広島、松山、福岡に寄港し、PR活動を展開するなど、「龍馬伝」の放映を契機として、本県の魅力を全国各地で発信していきます。

【高校生の春の全国スポーツ大会結果報告】

若い力が長崎県を感動の渦に！



写真提供／長崎新聞社

4月7日、第81回全国選抜高校野球大会で優勝した県立清峰高校野球部の優勝報告会が、県庁で行われました。

金子知事は、本県に初めて紫紺の優勝旗をもたらしたことにお祝いを述べた後、「春夏連覇を目指し、頑張ってもらいたい」と激励しました。

また、4月6日には、この春の全国大会で活躍した高校生たちが県庁を訪れ、知事に結果を報告。知事は、「皆さんの日頃の努力と、競技にかける熱意に敬意を表したい。この中から、平成26年に開かれる長崎国体で活躍する選手が出てくることを期待しています」と激励しました。

—— 全国スポーツ大会の主な成績 ——

- 第18回全国高等学校剣道選抜大会
男子 優勝 県立西陵高等学校
- 第52回全国高等学校選抜レスリング大会
男子96kg級 優勝 馬場貴大（県立島原高等学校）
- 第28回全国高等学校ライフル射撃競技選抜大会
エアライフル 優勝 小林直史（県立島原工業高等学校）
ビームライフル 優勝 本多貴大（県立島原工業高等学校）



笑顔で固い握手を交わす金子知事（右から3番目）と古川佐賀県知事（右から4番目）

【鷹島肥前大橋が開通】

島民念願の“夢の架け橋”が誕生

4月18日、本県と佐賀県が平成9年度から共同で事業を進めてきた、松浦市鷹島町と佐賀県唐津市肥前町を結ぶ鷹島肥前大橋が開通しました。

この橋は、2基の主塔から伸びたケーブルで橋げたを支える美しい斜張橋で、約1.2キロの長さがあり、九州では長崎市の女神大橋に次ぐ規模です。

鷹島は、伊万里湾に浮かぶ約17km²の島。元寇の舞台となった場所で多くの史跡が残っており、全国有数の養殖トラフグの産地でもあります。通行料が無料であることが大きな追い風となり、GWには予想を大きく上回る人出で島中ににぎわいました。

鷹島肥前大橋開通は、これから地域間の交流と活性化のための起爆剤となることが大きく期待されます。



【佐世保市・江迎町・鹿町町が合併を申請】

新しい「佐世保市」の誕生に向けて

3月25日、佐世保市内のホテルで、佐世保市、江迎町、鹿町町の1市2町による合併協定調印式が行われました。

調印式には、朝長佐世保市長、亀山江迎町長、宮田鹿町町長に加え、特別立会人の金子知事が出席。それぞれ協定書に署名押印し、固い握手を交わしました。

その後、1市2町それぞれの議会の議決を経て、4月20日には、3市町の首長・議長から知事へ合併の申請が行われました。知事は、「佐世保市は県北の核として地域振興に一層取り組んでほしい」と今後への期待を込めました。

新「佐世保市」は、県議会の議決や総務大臣の告示などの合併に向けた手続きを経て、来年3月31日に誕生する予定で、面積、人口ともに県内では二番目の大きさとなります。